

光葉同窓会メールマガジン

<2024年8月号>



206号 2024.8.01 配信

学生は夏休みに入り、学園に束の間の静寂が訪れています。

今年の夏は、パリ 2024 オリンピック・パラリンピックが開催され、日本の代表選手の活躍を否が応でも期待して、これまでも増して熱くなりそうです。

「暑い」のことは出すと、「夏は暑いのが当たり前」と言われた学生の頃とは違い、「危険な」とか「災害級の」ということばも普通に聞かれるほど、気候が変化しています。それでも五感を研ぎ澄ませて、暑い中でも何か涼を感じとれる余裕を自分の中に持ち続けたいものです。

熱戦を応援するのも夏の風物詩でしょうか。まずは頑張れ！日本！ (常任委員 畠中弘子)

◇生涯学習の報告

7月6日(土)、三宅知子さん(1972年初等教育科卒・ハンドメイドサロン「ハーモニー」主宰)の丁寧で細かな指導のもと、アーティフィシャルフラワーを使用した紫陽花と向日葵のリボンリースを18名が手作りました。季節のお花とかわいリボンをあしらった素敵な作品を仕上げた参加者からは、「頭の体操にもなった」「夢中で作品作りに取り組みまして楽しかった」「手作り作品ができるのはうれしい」などの感想をいただきました。



◇光葉同窓会奨学金授与を行いました

光葉緑奨学金

7月12日(金)、金尾朗学長と学科長にご臨席いただき授与式を行いました。今年度は、北海道6名、香川県1名、高知県1名、福岡県5名、宮崎県1名、熊本県1名、鹿児島県3名、大分県2名に贈呈書と奨学金5万円を授与しました。



光葉都奨学金 大学院社会人入学者奨学金

本学卒業後、社会人経験を経て、本学大学院(1年制を含む)で高度な学問研究を続ける方に給付します。福祉共創マネジメント専攻に入学された白石あさみさんと林由莉さんに授与しました。

◇ワーキングネットワーク イベントの報告

7月27日(土)、元航空自衛隊の時藤和夫氏をお迎えして、「東日本大震災できづいた人の絆」のトークイベントを行いました。

会場に33名、オンラインで6名が参加。松島基地業務群司令時に東日本大震災に遭遇。指揮官として、翌日からの災害派遣活動の取り組みについてうかがい、リーダーとしての心構えを学びました。現場の把握と管理、マネジメント力、隊員の適材適所を見極め、責任は自分が取るという姿勢で、ある程度までは現場に任せることがリーダーの姿だそうです。想定外の事態を通して、信頼・コミュニケーション・共感・尊重・相互サポート・誠実・感謝が絡みあい、人との「絆」の大切さが乗り越える力となったと語り、「同窓会も同様に、絆の環境を築くと大きな力になりますね」と締めくくられました。



◇夏季休暇のお知らせ

8月5日(月)～16日(金)

住所変更などはホームページからご登録ください。



広げよう光の葉

和田 眞子さん

1978年 日本文学科卒業

「世の光となろう」の教えを積み重ねて

品川和子先生や保坂都先生が担任でした。卒業式の朝、保坂先生に職員室に呼ばれ、「これまでよくやってくれました。こんな生き方もあるということを学んで生きていってください」と野上弥生子の本をプレゼントしていただいて感激しました。たくさん勉強したごく普通の学生でした。

大学4年の時に、たまたま見学に行った某テレビ局の料理番組の初回收録現場で段取りが悪く、このままではどうなるのかと心配になって、料理番組は専門外ですが、カメラのないところで勝手にお世話を焼いてしまいました。収録が終わり帰ろうとした時に、「プロデューサーに呼ばれています」と呼び止められ、怒られるのかと青くなりました。しかし、「よくやってくれました。次回から調理助手として来てください」という予期していないスカウトのことばをいただきました。この番組収録がご縁で、テレビの制作会社に就職。初日に手縫いの雑巾とエプロン持参で入社したところ、ここでも驚かれたのを覚えています。

その後、出産のために退社してからは、専業主婦として3人の子どもの育児や嫁としての日々でした。ある日、夫から「もっと以前のように輝いた君を取り戻してほしい」と言われ、一念発起。関わっていたPTA活動、視覚障害者のための音訳ボランティア、防災士としての活動などの経験を生かすことができる社会教育指導員の資格を取得し、世田谷区教育委員会に就職しました。社会教育は地域の中で学びを深めながら地域のために活動していく人材を日々発掘、育成します。例えば、区民センターに高額なピアノが入ることを知れば、それをただの備品にするのではなく、次代を担う子どもたちと一緒に活用していけるイベントを考え、さらにその準備のために高齢者のボランティアを募って企画運営をするなどの企画力が大切になります。これまでも新しいキャラクターづくりやISS国際宇宙ステーションと無線で子どもたちが直接交信する「宇宙プロジェクト」などいろいろな企画に携わってきました。区報で受講生を募集したり、地域の小中学校PTAの活動に助言をしたりと幅広い年代にアプローチする仕事なので、日々の自己研鑽を怠るわけにはいきません。昨年は社会教育士の称号を取得しました。福祉の視点も大切と実感し、社会福祉士の国家試験にも挑戦し合格しました。3月には、DWAT隊員(福祉専門職の団体)として、東京都から派遣され石川県輪島市で活動してきました。



光葉同窓会との繋がりは、先輩のお声がけで秋桜祭のお手伝いを始めたことがきっかけです。バザー会場で、お子様向けの手作り品や提供品の販売、簡単なくじ引きを担当し大きな声で呼び込みをして楽しく参加したことが今でも思い出されます。附属初等部や幼稚部のお子さんやご家族のリピーターと顔見知りになり、皆さんが大きく成長されていく様子に同窓会の活動ならではの醍醐味を少なからず感じていました。現在は世田谷支部の支部長としてたくさんのお仲間の皆様と楽しい活動に取り組んでおります。

昭和で受けた薫陶、「世の光となろう」との精神に則る活動を少しずつですが進めることができ、これからも元気に学び続け大切な次の世代への橋渡しをしていきたいと思っております。【End】